

# DOWA

## 2012年度 決算補足資料

2013年5月9日

**DOWAホールディングス株式会社**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 2012年度の総括

単位:億円

	2011年度 実績			2012年度 実績			比較増減					
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期		下期		通期	
売上高	1,889	2,035	3,924	1,932	2,261	4,193	43	2%	225	11%	269	7%
営業利益	108	111	220	113	132	245	4	5%	20	19%	25	11%
経常利益	98	110	209	123	149	272	25	26%	38	35%	63	30%
当期純利益	47	58	106	58	93	152	10	23%	35	60%	46	43%

- 前年度との比較では、営業利益は11%増益の245億円、経常利益は30%増益の272億円、当期純利益は43%増益の152億円となり、増収増益を達成

## マーケットの状況

- 廃棄物・リサイクル関連： 国内発生量は低調だが、アジア市場は拡大継続
- 自動車関連： 国内...上期はエコカー補助金の影響もあり堅調に推移したが、下期は中国向け輸出台数の減少により落ち込んだ  
海外...アジアの市場拡大や北米の景気回復により好調
- 電子部品・半導体関連： パソコンや携帯電話向けが低調の一方、スマートフォン関連の需要が拡大
- 建機・工作機械関連： 中国向け需要の落ち込みなど、総じて低調に推移

## 金属価格・為替

- 金属価格： 欧州債務危機や新興国の景気減速等を背景に、総じて軟調に推移
- 為替： 1ドル70-80円台の円高基調が定着していたが、年末以降は金融緩和期待から円安が進行

# 主要製品 販売・生産・処理量 実績推移

		2011年度				2012年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
環境・ リサイクル	廃棄物処理量	100	93	101	83	87	92	96	95
	花岡土壌処理量	100	91	106	80	83	118	65	81
	家電リサイクル処理量	100	104	77	59	53	49	45	38
製 錬	銀生産量(小坂)	100	90	142	106	125	119	147	149
	亜鉛生産量(秋田)	100	77	124	112	121	91	126	119
電子材料	化合物半導体	100	125	107	104	110	92	86	65
	LED	100	100	111	128	141	157	150	141
	銀粉	100	81	53	81	143	84	75	98
金属加工	伸銅品	100	120	130	126	129	126	112	113
熱 処 理	熱処理加工	100	114	117	116	108	102	102	107

2011年度1Qを100として指数化

# 損益計算書

単位:百万円

	2011年度			2012年度			比較増減		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度
<b>売上高</b>	<b>188,907</b>	<b>203,560</b>	<b>392,468</b>	<b>193,242</b>	<b>226,147</b>	<b>419,390</b>	<b>4,335</b>	<b>22,587</b>	<b>26,922</b>
売上原価	164,542	178,473	343,015	167,652	198,311	365,963	3,110	19,837	22,948
<b>売上総利益</b>	<b>24,365</b>	<b>25,087</b>	<b>49,453</b>	<b>25,590</b>	<b>27,836</b>	<b>53,427</b>	<b>1,224</b>	<b>2,749</b>	<b>3,974</b>
販売費及び一般管理費、開発研究費	13,536	13,906	27,443	14,272	14,591	28,863	735	684	1,419
<b>営業利益</b>	<b>10,829</b>	<b>11,180</b>	<b>22,009</b>	<b>11,318</b>	<b>13,245</b>	<b>24,564</b>	<b>489</b>	<b>2,064</b>	<b>2,554</b>
営業外収益	1,611	1,705	3,316	2,833	3,751	6,584	1,221	2,046	3,267
(受取利息及び受取配当金)	( 386)	( 284)	( 671)	( 326)	( 253)	( 579)	( 59)	( 31)	( 91)
(持分法投資利益)	( 0)	( 0)	( 0)	( 1,189)	( 1,935)	( 3,125)	( 1,189)	( 1,935)	( 3,125)
(その他の収入)	( 1,225)	( 1,420)	( 2,645)	( 1,316)	( 1,562)	( 2,879)	( 91)	( 142)	( 233)
営業外費用	2,606	1,802	4,408	1,812	2,058	3,871	793	255	537
(支払利息)	( 1,004)	( 964)	( 1,968)	( 866)	( 830)	( 1,697)	( 137)	( 133)	( 271)
(持分法投資損失)	( 696)	( 510)	( 186)	( 0)	( 0)	( 0)	( 696)	( 510)	( 186)
(その他の費用)	( 905)	( 1,348)	( 2,253)	( 946)	( 1,227)	( 2,174)	( 41)	( 120)	( 79)
<b>経常利益</b>	<b>9,834</b>	<b>11,083</b>	<b>20,918</b>	<b>12,338</b>	<b>14,938</b>	<b>27,277</b>	<b>2,504</b>	<b>3,855</b>	<b>6,359</b>
特別利益	480	824	1,304	412	54	466	67	770	838
(固定資産売却益)	( 17)	( 155)	( 173)	( 88)	( 24)	( 112)	( 70)	( 131)	( 60)
(投資有価証券売却益)	( 0)	( 344)	( 344)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 344)	( 344)
(補助金収入)	( 342)	( 86)	( 429)	( 0)	( 29)	( 29)	( 342)	( 56)	( 399)
(その他)	( 119)	( 237)	( 357)	( 324)	( 0)	( 324)	( 204)	( 237)	( 32)
特別損失	1,623	1,647	3,270	3,157	735	3,893	1,534	911	623
(固定資産除却損)	( 245)	( 178)	( 424)	( 226)	( 379)	( 606)	( 18)	( 200)	( 182)
(投資有価証券評価損)	( 250)	( 101)	( 352)	( 2,552)	( 0)	( 2,552)	( 2,301)	( 101)	( 2,199)
(減損損失)	( 104)	( 2)	( 102)	( 58)	( 64)	( 122)	( 46)	( 66)	( 20)
(退職給付制度改定損)	( 0)	( 27)	( 27)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 27)	( 27)
(災害損失)	( 611)	( 304)	( 915)	( 147)	( 90)	( 56)	( 464)	( 394)	( 859)
(その他)	( 410)	( 1,037)	( 1,448)	( 172)	( 383)	( 555)	( 237)	( 654)	( 892)
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>8,691</b>	<b>10,260</b>	<b>18,952</b>	<b>9,592</b>	<b>14,257</b>	<b>23,850</b>	<b>901</b>	<b>3,996</b>	<b>4,898</b>
法人税等	3,663	3,768	7,431	3,649	4,560	8,210	14	792	778
少数株主損益	261	648	909	111	314	426	149	333	483
<b>当期純利益</b>	<b>4,766</b>	<b>5,844</b>	<b>10,610</b>	<b>5,831</b>	<b>9,382</b>	<b>15,213</b>	<b>1,065</b>	<b>3,537</b>	<b>4,603</b>

# 連結決算 前年比較(セグメント別・通期)

単位: 億円

	2011年度実績			2012年度実績			比較増減			売上高、営業利益増減の内訳
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・リサイクル	910	44	44	1,040	64	67	130	19	22	廃棄物処理部門は、低濃度PCB廃棄物処理事業の展開に加え、集荷ネットワークの強化により、増収増益となった。土壌処理部門は、新規浄化技術の導入を進め、ほぼ前年度並みの利益。その他、東南アジアなど海外事業展開も順調に推移し、増益となった。
製錬	1,776	42	45	2,050	46	72	274	4	26	製錬所の稼働は順調に推移し、また新金属の回収強化を進めた。その結果、生産量や実収差量が増加し、増益となった。また、為替が円安に振れたことも増益要因となったが、一方で金属価格の下落や買掛条件の悪化など、事業環境の厳しさは継続しており、増益額を押し下げる事となった。
電子材料	827	54	59	713	57	65	113	3	5	半導体部門は、PC向けレーザーなどの需要が落ち込む一方で、スマートフォン向け用途や窒化物半導体(HEMT)の拡販を行い、増益となった。電子材料部門は太陽電池用途向けの銀粉の販売量を伸ばし、増益となった。機能材料部門は、ユーザーの在庫調整や海外需要の減少により、減益となった。
金属加工	771	45	47	739	48	51	32	3	3	伸銅品部門は、自動車部品向けの製品は、上期は堅調に推移したものの、下期に入り中国向け自動車輸出が減少した影響を受けた。また、半導体関連や棒加工品向けの需要も下期低調であったが、生産性の改善に努め増益を確保した。めっき部門は、シェア拡大を図り、ほぼ前年度並みの利益を確保した。回路基板部門は、産業機械向けの製品が海外需要減退の影響を受け、減収減益となった。
熱処理	186	19	18	245	15	16	59	4	2	工業炉(炉販・メンテナンス)部門は、海外自動車生産の増加に合わせて、積極的に外需の獲得を図り、増収増益となった。熱処理加工部門では、下期に国内自動車生産が減少した影響を受けたものの、比較的堅調に受注を確保した。一方で、エネルギーコストの増加などがあり、増収減益となった。
全社・消去その他	547	13	7	596	11	0	48	1	6	
合計	3,924	220	209	4,193	245	272	269	25	63	

# 経常利益 増減要因分析

(セグメント別・通期 前年比)

単位: 億円

2012年度 - 2011年度	環境・ リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計	
施策効果・販売増減など	18	18	4	1	4	1	35	
うち実収差量(数量差)	-	13	-	-	-	-	13	
実収差量(単価差)	-	7	-	-	-	-	7	
原料条件(為替差・ベース条件差)	-	10	-	-	-	-	10	
払出時価簿価差・期末時価評価差	-	5	-	-	-	-	5	
その他特殊要因	-	11	-	-	-	-	11	
減価償却費	2	10	1	2	0	0	13	
営業利益 増減	19	4	3	3	4	1	25	
営業外 収支の 影響	持分法損益	3	20	0	0	-	11	33
	その他	0	2	3	1	2	3	4
経常利益 増減	22	26	5	3	2	6	63	

# 貸借対照表(連結決算)

単位:百万円

科 目	2012年3月末	2013年3月末	比較増減	科 目	2012年3月末	2013年3月末	比較増減
<b>(資産の部)</b>				<b>(負債の部)</b>			
<b>流動資産</b>	<b>150,816</b>	<b>171,287</b>	<b>20,470</b>	<b>流動負債</b>	<b>109,271</b>	<b>133,125</b>	<b>23,854</b>
現金・預金	4,824	6,163	1,338	支払手形・買掛金	34,886	42,403	7,516
受取手形・売掛金	59,394	71,829	12,435	短期借入金	46,741	52,514	5,773
棚卸資産	72,780	80,282	7,502	社債(一年内)	-	-	-
繰延税金資産	4,170	3,287	883	未払法人税等	2,159	5,353	3,193
その他流動資産	9,878	9,783	94	地金リース債務	6,177	9,519	3,341
貸倒引当金	231	59	171	その他流動負債	19,306	23,335	4,029
				<b>固定負債</b>	<b>88,585</b>	<b>74,260</b>	<b>14,325</b>
<b>固定資産</b>	<b>168,848</b>	<b>178,500</b>	<b>9,651</b>	社債	10,000	10,000	-
有形固定資産	100,775	103,647	2,871	長期借入金	60,928	44,623	16,305
無形固定資産	8,557	11,217	2,659	退職給付引当金	10,519	10,990	470
投資有価証券	52,429	56,187	3,757	繰延税金負債	1,743	2,969	1,226
繰延税金資産	4,682	3,976	705	その他固定負債	5,393	5,676	283
その他の投資	2,537	3,638	1,100	<b>(負債合計)</b>	<b>197,857</b>	<b>207,386</b>	<b>9,529</b>
貸倒引当金	133	165	32	<b>(純資産の部)</b>			
				<b>株主資本</b>	<b>112,850</b>	<b>125,291</b>	<b>12,441</b>
				資本金	36,437	36,437	-
				資本剰余金	26,362	26,362	-
				利益剰余金	55,737	68,180	12,442
				自己株式	5,686	5,688	1
				<b>評価換算差額等</b>	<b>958</b>	<b>8,302</b>	<b>7,344</b>
				その他有価証券評価差額金	4,390	8,990	4,600
				繰延ヘッジ損益	179	89	269
				為替換算調整勘定	3,252	777	2,474
				<b>少数株主持分</b>	<b>7,999</b>	<b>8,807</b>	<b>807</b>
				<b>(純資産合計)</b>	<b>121,807</b>	<b>142,400</b>	<b>20,593</b>
<b>資産合計</b>	<b>319,665</b>	<b>349,787</b>	<b>30,122</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>319,665</b>	<b>349,787</b>	<b>30,122</b>

有利子負債	117,670	107,138	10,531
現金・預金	4,824	6,163	1,338
実質残高	112,846	100,975	11,869
自己資本比率	35.6%	38.2%	2.6%
ROA	6.3%	8.1%	1.8%

# 連結キャッシュフロー計算書

単位:百万円

	2011年度	2012年度	増 減		2011年度	2012年度	増 減
<b>・営業キャッシュフロー</b>				<b>・投資キャッシュフロー</b>			
税引前当期利益	18,952	23,850	4,898	設備投資	16,172	17,871	1,699
調整項目(非キャッシュ)				有価証券売却・取得	4,976	1,742	3,234
減価償却費	18,846	17,504	1,341	貸付金	354	310	44
持分法投資損益	186	3,125	3,311	固定資産売却	487	643	155
構造改革費用、減損損失	102	580	477	その他	1,524	74	1,598
有証、固定資産除・売却損益	92	528	620	(合計)	19,491	19,354	136
投資有価証券評価損	352	2,552	2,199	<b>・財務キャッシュフロー</b>			
引当金の増減額	47	663	711	借入金・社債増減	20,480	11,466	9,013
利息(受取-支払)、配当金	1,851	1,566	284	自己株式取得・株式発行	1	1	-
法人税等	4,589	3,432	1,157	配当金	3,177	3,167	10
その他	670	915	1,585	その他	474	346	127
PL項目合計	34,891	41,603	6,712	(合計)	24,134	14,982	9,151
資産・負債の増減				現金等に係る換算差額	66	261	328
売上債権、仕入債務	2,736	4,859	2,122	現金等の増加	12,193	894	13,087
棚卸資産の増減	7,289	6,837	14,126	(新規連結、連結除外)	239	446	206
その他	7,945	5,063	13,008	現金等の期首残高	16,741	4,788	11,953
BS項目合計	3,392	6,633	3,241	現金等の期末残高	4,788	6,129	1,341
(合計)	31,499	34,970	3,470				
<b>フリーキャッシュフロー</b>	15,326	17,098	1,771	(参考)			
				有利子負債残高	117,670	107,138	10,531



# 2013年度の見通し

単位: 億円

	2012年度 実績	2013年度 見込	増減	
売上高	4,193	4,500	307	7%
営業利益	245	290	45	18%
経常利益	272	310	38	14%
当期純利益	152	180	28	18%

## マーケットの見通し

### ➤ 廃棄物・リサイクル関連

国内市場は横這い、アジアでの廃棄物・土壌浄化・リサイクル需要は拡大継続

### ➤ 自動車関連

国内自動車生産は緩やかに回復、海外生産は北米の景気回復やアジアマーケットの成長もあり、拡大を見込む

### ➤ 電子部品・半導体関連

スマートフォン関連やパワー半導体市場は拡大、太陽電池向けは堅調、TV・PC向けは横這い

# 2013年度 前提条件と感応度 (営業利益/年)

為替、金属価格

	2012年度		2013年度見込	<参考>直近
	上期平均	通期	通期	4月平均
為替 (円/\$)	79.4	83.1	90.0	97.7
銅 (\$/t)	7,792	7,855	7,000	7,203
亜鉛 (\$/t)	1,908	1,950	1,900	1,853
インジウム (\$/kg)	494	499	550	528

感応度 (営業利益 / 年)

単位: 百万円

	前提条件	変動幅	感応度 (差量・原料条件)
為替	90.0 円/\$	±1 円/\$	380
銅	7,000 \$/t	±100 \$/t	30
亜鉛	1,900 \$/t	±100 \$/t	290
インジウム	550 \$/kg	±100 \$/kg	600

感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 連結決算見込 前年比較(セグメント別)

単位:億円

	2012年度実績			2013年度見込			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・リサイクル	1,040	64	67	1,040	81	81	0	16	13
製錬	2,050	46	72	2,250	48	73	199	1	0
電子材料	713	57	65	770	68	74	56	10	8
金属加工	739	48	51	780	54	55	40	5	3
熱処理	245	15	16	260	27	24	14	11	7
全社・消去その他	596	11	0	600	12	3	3	0	3
合計	4,193	245	272	4,500	290	310	306	44	37

# 投資と減価償却費の推移

単位:億円

	2010年度実績			2011年度実績			2012年度実績			2013年度見込		
	設備投資 株式投資	研究開発 投資	合計	設備投資 株式投資	研究開発 投資	合計	設備投資 株式投資	研究開発 投資	合計	設備投資 株式投資	研究開発 投資	合計
環境・リサイクル	68	3	71	54	4	58	58	4	62	80	5	85
製 錬	51	8	59	51	7	59	28	6	35	20	8	28
電 子 材 料	35	24	60	41	29	70	36	28	65	25	27	52
金 属 加 工	11	3	15	16	3	19	19	4	23	50	4	54
熱 処 理	22	2	24	42	2	44	40	3	43	30	3	33
全社、その他	1	0	2	7	0	6	17	0	16	20	0	20
合 計	191	42	234	213	46	259	201	46	247	225	50	275

## 減価償却費

単位:億円

	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 見込
環境・リサイクル	51	50	47	47
製 錬	65	60	50	44
電 子 材 料	20	27	27	27
金 属 加 工	26	23	22	24
熱 処 理	15	16	17	18
全社、その他	4	4	4	5
合 計	184	183	169	168

### 2012年度の主な設備投資、株式投資

- 環境・リサイクル : 廃棄物処理設備改善
- 電 子 材 料 : LED・窒化物半導体 増強
- 熱 処 理 : インドネシア工場建設